

我社は設立より38年間 高品質主義をポリシーに原料・生産に こだわってきました。

食の安全、衛生管理は地球上人類が生存する限り恒久的な課題であります。

「食の安全」を守る為、我社は設立より38年間、高品質主義をポリシーとして原料にもこだわってきました。

また、あらゆる消費者ニーズにお応えできる「多品種少量販売」を基本として、開発・製造・販売に専念して参りました。

我社は今後も常にお客様の信頼にお応えできる高品質主義を守り食の安全・安心に貢献して参ります。

～食品の品質・安全は手袋から始めましょう～
手袋はコストではありません。食品の一部であります。



代表取締役 波多野 勇

国内自社工場での生産 衛生管理の行き届いた最新設備



■青梅第1工場



■青梅第2工場



■アルプス伊那工場



青梅第1工場・物流センター

工場で製造された全ての手袋を出荷、配送しています。(製袋機30台)

青梅第2工場・物流センター

スクラップ原料をリペレットに再生し、手袋のフィルムを生産しています。(製袋機12台)

アルプス伊那工場

フィルムを生産し、手袋を製造しています。(製袋機3台)

衛生的に管理された最新の設備のもと、自社一貫生産で製造しております。

生産ラインのご紹介

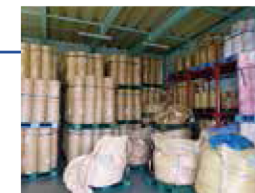
朝は毎日作業スタッフ全員の健康をチェック

毎朝作業ルームへの入室前にスタッフ全員の健康状態と衛生状況のチェックを実施しています。風邪や下痢のスタッフはその日の作業ルームへの入室を認めません。



原料倉庫の様子

用途に応じた素材やカラーに対応できるように、倉庫には常時様々な原料が揃っています。



作業ルーム内の風景

フィルム原料を最新の機械にセットし、エンボス手袋を製造している風景です。工場スタッフは衛生管理が行き届いた作業ルーム内で、全員帽子と手袋を着用して異物の混入を防いでいます。



エンボス手袋の製造過程で発生する余ったフィルムについては、捨てずに回収して弊社独自の技術によって再生利用します。
⇒これにより弊社では環境への配慮とコスト削減の両立を実現しています。



作業ルーム内を常に一定の温度と湿度に保つことで、品質の均一化を図っています。

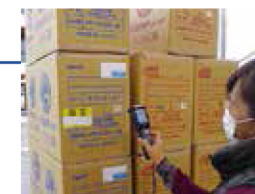


完成した製品にはコンピュータによって、どの作業員がいつ製造したのかをバーコードラベルに記録し、梱包箱に貼り付けます。これにより万が一製品に不備が発見された場合に迅速なコール対応を行います。



出荷先データベースへの登録

製品をお客様に出荷する際にはJANコードと製造ロット番号のバーコードを専用端末でスキャンし、どのお客様に出荷したのかをコンピュータに記録します。⇒100%誤出荷防止



トラックで出荷

トラックに積み込み出荷作業が完了となります。

